

(施策評価表70)

【施策番号IV-14-①-2】

取組みの方向性	百年の礎を築く	戦略	【戦略14】熊本アカデミズム ～「知」の集積を「地」の活力につなげます～	主な施策	◆研究開発部門と大学院を誘致する ～産学官連携による最先端技術の集積～
			①世界からの「知」の集積		

1 取組内容	2 主な事業 〔上段:H25事業 下段:H24事業〕	担当課	H25予算(千円) H24決算(千円)	3 平成24年度の主な成果	4 平成25年度の推進方針・推進状況	5 施策を推進する上での課題	6 今後の方向性
<p>・ 大学や、生命科学・半導体関連の立地企業と連携し、企業の研究開発部門やシンクタンクを誘致し、生命科学や半導体などの産業の裾野を拡大します。</p>	企業誘致事業	企業立地課	36,547 35,777	<p>・ 知事トップセミナー、産業展示会への出展、企業誘致可能性調査により、企業誘致に向けたターゲット企業の絞り込みと重点的なアプローチが可能となり、東京事務所及び大阪事務所と連携して効率的な誘致活動を行った結果、新規企業立地件数11件のうち研究開発部門が2件となった。また、立地企業に対するフォローアップを徹底し、更なる拠点性（研究開発や量産技術開発など）の強化に向けた活動を行った結果、増設の企業立地件数19件のうち研究開発部門が4件となり、合計では、企業立地件数30件のうち研究開発部門が6件となった。</p> <p>・ 大学等の研究シーズと企業の製品開発ニーズとのマッチングなどにより創造的企業誘致を推進するため、県内大学や産業支援機関を個別に訪問し、連携強化を図ったうえで、研究シーズ紹介用パンフレットを作成した。これにより研究開発部門の誘致活動の幅が広がった。</p>	<p>・ 企業誘致に向けてターゲット企業の絞り込みと重点的なアプローチを図るための知事トップセミナー、産業展示会への出展及び企業誘致可能性調査などを実施するとともに、東京・大阪事務所と連携して引き続き効率的な誘致活動を行う。</p> <p>・ 立地企業に対するフォローアップを徹底し、更なる拠点性（研究開発や量産技術開発など）の強化に向けた誘致活動を行う。</p> <p>・ 本県の立地情報をワンストップで提供するホームページの機能を強化するとともに、アジアの有力な展示会の出展や上海事務所等を通じて、グローバル企業をターゲットとした誘致活動を行う。</p>	<p>・ これまでの企業誘致活動の更なる磨き上げを図る一方で、国内拠点の再編・集約の流れを逆手に取り、熊本の工場が集約場所に選ばれようとする取組みを一層本格化させる必要がある。また、ものづくりの川上の部分（研究開発分野）により焦点を当て、企業が本県で最先端のものづくりに取り組める開発環境を積極的に構築するなど、創造的あるいは提案型の企業誘致を行っていく必要がある。</p>	<p>・ H27年度末までに企業立地件数が計100件、うち研究開発部門の立地件数が5,500人となるよう取り組んでいく。</p>
	創造的企業誘致推進事業	企業立地課	7,165 6,325				
<p>・ 環境や健康などの理論や応用研究を行う大学院を、環境都市をめざす水俣市へ誘致するため、熊本県立大学や国と連携して取組みを進めます。</p>	「環境首都」水俣・芦北地域創造事業（水俣市「環境まちづくり推進実現事業（環境大学構想の検討）」への補助）	地域振興課	29,700 9,809	<p>・ 平成24年度に新たに創設された「環境首都」水俣・芦北地域創造事業（水俣市「環境まちづくり推進実現事業（環境大学検討）」への補助）により、水俣市がH22年度から行っている高等教育・研究機関の設置可能性等に関する検討が進んだ。</p> <p>・ 同市における高等教育・研究機関との連携方法等を検討するため、庁内関係課及び熊本県立大学によるプロジェクトチームを設けることとした。</p>	<p>・ 水俣市における取組みを、環境省、熊本県立大学等と連携して支援する。</p> <p>・ H25.4.15に設置したプロジェクトチームにおいて、大学院誘致に関する課題の整理等を行い、取組みの方向性を取りまとめている中、H25.6.5に熊本県立大学が国立水俣病総合研究センターと連携大学院協定を締結し、環境問題、地域政策に関する研究教育環境が水俣市において充実したことは、戦略の実現に大きく寄与した。</p>	<p>・ 熊本県立大学及び国立水俣病総合研究センターとの間で締結された連携大学院協定を通じた着実な連携を図る必要がある。</p>	<p>・ 熊本県立大学を含む大学や研究機関等との着実な連携により、水俣市において知の集積が図られるよう支援を行う。</p>
		主な施策のまとめ		<p>●企業誘致に向けたターゲット企業の絞り込み、重点的なアプローチ等により、増設も含め、研究開発部門6件の企業立地を達成。</p> <p>●水俣市が実施した、大学院の設置を検討する「環境まちづくり推進実現事業」への補助を実施し、高等教育・研究機関の設置可能性等検討に係る取組みが促進。</p>	<p>●ターゲット企業の絞り込み、知事トップセミナー等を実施し、東京事務所及び大阪事務所と連携した効率的な誘致活動を実施。</p> <p>●アジアの有力な展示会への出展、グローバル企業をターゲットとした誘致活動の実施。</p> <p>●熊本県立大学が国立水俣病総合研究センターと連携大学院協定を締結。</p>	<p>●企業が最先端のものづくりに取り組める開発環境の構築。</p> <p>●連携大学院協定を通じた着実な連携</p>	<p>●研究開発部門10件の企業立地を達成。</p> <p>●大学や研究機関等との着実な連携により、水俣市において知の集積が図られるよう支援。</p>